

表紙画像について…… 盛丘 由樹年

「横浜・旧根岸競馬場観覧席」 2014年6月8日撮影

これは第一級の廃墟だろう。横浜市中区にある根岸森林公園の近くに、風雨にさらされた巨大なコンクリートの建造物が、緑の多い公園を見下ろすように、そびえ立っている。荒れるに任されている。壁面には、ツタが這い上がって黒く覆っている。フェンスに囲われ施錠されているから、人は中に入れないが、距離を置いて一見の価値がある。

その昔これは根岸競馬場の「一等馬見所」と言われていた。1929年に竣工したものだという。ここで競馬が開催されていた当時は、そうとうりっぱな観覧席だったことが偲ばれる。写真は裏手の方から撮影したもので、階段状の座席などは見えていないが、人々はそこから高い視点で競馬を眺めていた。根岸競馬場の歴史は古く、幕末の1867年から横浜にいた外国人たちの娯楽施設の一つとして作られたとある。横浜競馬場と名を変えたりして1942年6月に閉鎖されるまで続いた。旧海軍に軍用地として接収され、その後、米軍に引き継がれ、根岸住宅地区の一角だった。

「みなせ」文芸の会要項

1 会員制

入会の資格等は、特にありません。執筆掲載希望の方、および購読希望の方であれば、どなたでもいつでも入退会できます。

2 年間会費

入会時と年次に千円を事務局に納入願います。
(懇談会の席で、直接納入でも可)

3 掲載負担金 (一頁、原稿約2.5枚につき)

電子文書 300～500円 (発行時にかかった費用により確定)

手書き原稿も可能ですが、電子文書の±100円高となります。

4 掲載内容

小説、評論、随筆、詩歌など文芸作品に限りません。

5 年4回発行 (季刊)

発行の数週間後に、合評・懇談会を主に神奈川県内で開催します。

6 問い合わせは事務局まで、奥付参照。

編集後記

出版業界では雑誌や書籍の発行がピークの年の半分に落ち込んでいるとはいえ、そして紙の書籍が電子書籍に置き換わりつつあるのですが、まだ冊子を作ることに意味があると思っています。

原稿が所定数に集まらないと、発行が危ぶまれるのですが、何とか本号も予定通り発行できる運びとなりました。

本号では、各作品の最終ページ下段が空白のものが多くあり、気になる向きがあるかもしれません。また、この数ページ前に空白のページがありますが、本誌は8ページ単位の印刷ですので、コスト的には変わりません。メモなどに使ってください。(T.O)

【お知らせ】

- ・新会員を募集しています。お問い合わせは事務局へ。
 - ・ホームページについては、以下のサイト、
<http://minasebungei.web.fc2.com>
を訪問してください。
 - ・ホームページの検索は『みなせ文芸』で可能です。
- 第47号からのバックナンバーをこちらで読めるようにしています。

【会員へ】 本号の合評・懇談会は2月下旬を予定しています。詳細は別紙・会合の案内を参照してください。また、今後に掲載しようとする原稿は、以下に示します締切日までに、ご用意下さい。

【発行予定号】 原稿締切日 発行予定日

82号 19年3月25日 19年5月1日

みなせ 第81号

発行日 2019年2月1日発行

発行者 みなせ文芸の会

<http://minasebungei.web.fc2.com/minase.html>

編集／事務局 岡森 利幸

〒257-0013 秦野市南が丘5-3-16

Tel/Fax 0463-83-0279

e-mail t-okamori@plala.tn

製本 社会福祉法人神奈川県厚生協会 貴峯荘

〒254-0064 平塚市達上ヶ丘1-9